

# 一般質問

△森田議員▽  
 地区担当員制度は今年で12年目になるが、町内会と行政の連絡調整、柔軟な活動支援等、どのような制度設計を考えているのか。昨年



**問** 地区担当員の任期は4年が良いのでは  
**答** 2年を基本として多くの町内会と関わらせたい

12月の一般質問の答弁で、自主防災組織を立ち上げたいと言ったが、町内会と地区担当員との連携が、協働のまちづくりに繋がるのではないか。地区担当員は2年で交代だが、関わりや役割を理解し支援をするには、4年任期として、まちづくりを進めることも肝要である。町長の考えを伺う。

△長屋町長▽  
 この制度は住民と行政との協働のまちづくりの一環として、町内会活動の活性化を期待し実施した。地区担当員は町内会の自主的な活動に対する支援が主である。  
 町内会から要望や相談等があれば積極的にこの制度を活用して頂きたい。  
 自主防災組織の立ち上げでの町内会と地区担当員の関係について

だが、防災は専門的な知識がかなり必要なので、基本的には住民生活課が中心となつて対応したい。  
 また地区担当員の任期は、2年を基本として多くの町内会を経験させたい。

△森田議員▽  
 2年任期では、各町内会活動の目標を達成することは難しい。4年任期にすることで、地区担当員と町内会が目標設定をし、活動を行っていくことが大事と考えるが。

△長屋町長▽  
 滝上町で採用する職員は、昔は町内出身者が非常に多かったが、今は大部分が町外からの採用者である。そのため、住民の顔がわかるまで相当時間がかかり、関係が深まりづら

一か所に4年いると多く回れないので、2年が適当だ。  
 △森田議員▽  
 現状肯定ではなく、「協働のまちづくり」と一つのテーマを持ち、行政と地域がしっかりと手を組む環境を作って頂きたい。

△長屋町長▽  
 役場職員は、町民の一人なのだという意識と自覚を持ち色々活動して欲しい。